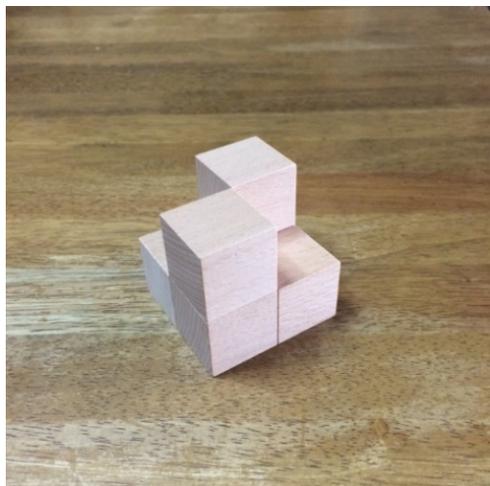
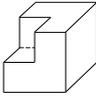
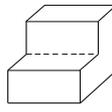
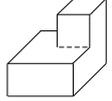
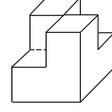
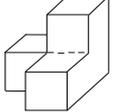
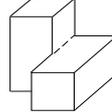
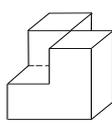
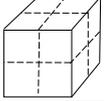


「立方体構成課題」 教具セット説明書・指導解説書(2020. 4. 1)

I 教具セット



番号	品名	形状	セット内容		
			倍体 (1の積み木が ○個分か)	サイズ (縦×横×高さ)	個数
1	点部品		1	30×30×30	2
2	線部品		2	30×60×30	2
3	L字部品		3	-	1
4	台1		7	-	1
5	台2		6	-	1
6	台3		5	-	1
7	台4		6	-	1
8	台5		4	-	2
9	台6		4	-	2
10	台7		5	-	1
11	見本		8	60×60×60	1

II 指導解説書

1. 課題の概要

台と部品を組み合わせて、 $2 \times 2 \times 2$ の立方体を構成する。立方体構成を通し、上下左右斜めなどの基本的な空間概念を育む。

2. 対象

概ね3歳半～8歳程度の知的発達水準のもの。

3. 教材のステップ (全13課題)

課題	台	部品	難易度	課題	台	部品	難易度
1			★	9			★★★★★
2		 	★	10		 	★★★★★
3			★	11		 	★★★★★
4		 	★	12		 	★★★★★★
5		 	★★	13		 	★★★★★★
6		  	★★★				
7		  	★★★				
8		 	★★★				

4. 指導の留意点

- (1) 机上の環境：組み合わせる台が動くと操作がしにくいいため、机の上に積み木が滑りにくい素材(フェルト素材等)を敷いて、教材が滑ることはなくとも完全には固定されないように配慮すると、操作しやすい。また、課題に慣れるまでは、指導者が台を手で押さえてあげると構成しやすい。
- (2) 台および部品の提示：最初に、見本の立方体を提示し、同じ立方体を作るよう教示する。台を先に渡し、それから部品を渡す。課題が簡単に達成できるようになったら、必要な台と部品をランダムに置き、自分で組み立てる順番を選んでもらうことで難易度を上げることができる。

(文責：茨城県立盲学校 石飛琴絵
宇都宮大学教育学部 福田奏子)

山形県立山形盲学校 井上亜紀

Created by Office SASHIMA

連絡先 佐島 毅 筑波大学人間系 (障害科学域)
E-mail : sashima-t62@human.tsukuba.ac.jp
〒112-0012 文京区大塚 3-29-1(422)
Tel / fax : 03-3942-6854
筑波研究室：人間系学系棟 B202